



三島地区コミュニティだより

道標

第 1 6 1 号

創刊日 昭和63年 6月20日

発行日 令和 7年 3月20日

発行責任者 三島地区コミュニティ広報部



■ 第40回 三島小凧揚げ大会

1月18日(土)



冬らしい寒さと程よい風の中、三島小PTA・三子連主催の恒例の凧揚げ大会が三島体育センターグラウンドで行われました。約100張の凧を持った子ども達が集まりました。



開会式



手作り凧の審査



表彰式



大凧揚げ

■ どんど焼き開催

1月26日（日）

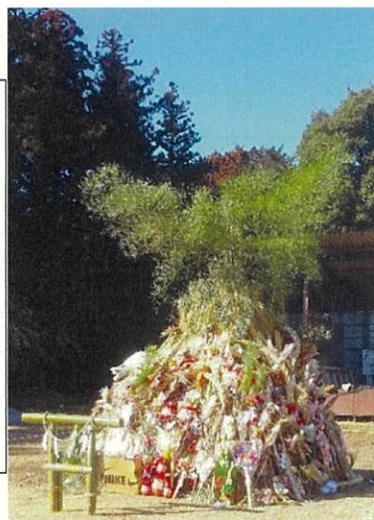


改めて2月2日（日）に実行委員会
有志が「やぐら」に点火しました。

「三島神社でのどんど焼き」が実行委員会の
尽力により再開して（コロナ禍による休止を経
て）今年で第12回目を迎えました。

「がらまき」が行われた後、風が強くなった
ため「どんど焼き」は中止となり、別に用意し
た火であぶった「まゆ玉」を食べて無病息災を
祈願しました。

お正月飾りなどの縁起物を
納めた「やぐら」



三島神社での「がらまき」



三島中ボランティアによる
「どんど焼き」歴史の解説



◆「アジア学院」視察研修会

福祉部

11月29日(金)、福祉部委員など10名の他に三島公民館職員3名が参加し、アジア学院を訪問しました。

毎年4月から12月まで9ヶ月間にわたる農村指導者の養成訓練に約30人の学生が参加しています。出身地はアジア、アフリカ、太平洋諸国などの農村地域です。アジア学院の特徴である多文化コミュニティに触れ、福祉部としては有意義な1日でした。



◆ そば打ち講習会・しめ飾り作り

文化・教育部

12月15日(日)三島公民館で年末恒例のそば打ち講習会としめ飾り作りが行われました。午前中の「そば打ち講習会」では、参加者7名が講師・富山さんと花井さんからご指導を受けて、二八そばを作りました。午後の「しめ飾り作り」では、参加者6名が個性豊かなしめ飾りを作りました。



▼ 西三島：初めての「スポ・レク大会」

1月12日(日)

新しい試みとして、子どもから高齢者までが参加できる「スポーツ・レクリエーション大会」を企画・開催し、20名が参加しました。「玉拾い競争」「箸で豆つかみ競争」「鉛筆立て競争」の三種目でタイムを競いました。楽しく笑いの絶えない大会となりました。





～地域だより～



▼ 東赤田：新春赤田まつり

1月12日(日)

射的・輪投げ・バルーンアートなどで大人も子どもも楽しみ、カラオケでは懐かしい歌も聞こえてにぎやかに盛り上がりました。テーブルを囲んでけんちんうどんを頂きながら、「元気でよかった」「今年も来られて幸せだね」など、和やかな会話も聞こえていました。最後にお米や肉などの豪華賞品が当たる福引き券付きのガラまきがあり、袋いっぱいそれぞれの商品をもって、今年も嬉しいスタートとなりました。



▼ 東三島：繭玉作り

1月26日(日)



子ども37名を含む総勢80名が、朝9時に東三島公民館に集まり、赤・白・黄・緑色の繭玉作りをしました。

その後、お汁粉を食べて体を温め、枝に刺した繭玉を持って三島神社に行き「どんど焼き」に参加しました。

▼ 南郷屋：防火訓練

2月15日(土)

火災に遭遇した時を想定した防火訓練を行いました。まず、西那須野消防署員から「防火に必要な備え」と「火災時どう行動すべきか」の説明を受けました。その後、参加者全員が水消火器を使った消火体験を行いました。続いて公民館ホールで火災に関するDVDを見て、改めて備えの大切さと火災時の命を守る行動などについての認識を新たにしました。



編集後記 色とりどりの花が咲きそろそろ季節となりましたが、まだ寒暖差があり体調管理には気をつけたい季節ですね。昨今は物価高でガソリン価格高騰や令和の米騒動などもあり悩ましいです。3月は出会いと別れの時期でもあり、新しい出会いなどに感謝して、今年も一年頑張りましょう。(T. I)